

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

平成22年8月11日

上場会社名 株式会社アベルコ 上場取引所 JQ
 コード番号 7539 URL http://www.avel.co.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 一成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼 管理部長、経理部長 (氏名) 永澤 正博 (TEL) 03(3853)3391
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績 (平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	32,561	△4.7	141	—	209	—	△8	—
21年9月期第3四半期	34,157	—	△266	—	△185	—	△232	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	△0.82	—
21年9月期第3四半期	△21.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	21,603	12,735	58.9	1,198.72
21年9月期	22,198	12,819	57.7	1,206.63

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 12,735百万円 21年9月期 12,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年9月期	—	4.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想 (平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	45,500	0.3	180	—	270	—	130	—	12.24	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年9月期3Q	10,704,960株	21年9月期	10,704,960株
22年9月期3Q	80,926株	21年9月期	80,869株
22年9月期3Q	10,624,069株	21年9月期3Q	10,624,121株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	5
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書.....	8
【第3四半期連結累計期間】.....	8
【第3四半期連結会計期間】.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする新興国需要の拡大や政府の経済対策による景気下支え効果などを背景に、緩やかな回復基調を辿りました。しかし一方で、欧米を中心とした海外景気の下振れ懸念や、円高の進行、厳しい雇用情勢、デフレの継続等の景気下押し要因を抱え、依然として先行き不透明な状況が続きました。

不動産市場におきましては、住宅ローン減税の継続、住宅資金贈与非課税枠の拡大、「住宅エコポイント制度」等の住宅市場の活性化策の効果もあり、全国新設住宅着工戸数については、持家・分譲一戸建・分譲マンションにおいて持ち直しの動きが見られるものの、厳しい雇用・所得環境を反映して総体として低水準で推移しており、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、戸建住宅事業については、プレカット商材及び太陽光発電システムの新商材の取扱いが本格的に軌道に乗り始め、取扱商品の一段の充実と施工力を強みとしたトータル受注を推進いたしました。また、地場の工務店に的を絞った新規顧客の獲得による将来につながる取引基盤の拡充にも継続的に注力いたしました。更に、利益率の向上のため、「工事統括部」のリーダーシップのもと、発注ミスや施工ミスによる無駄なコスト削減のための原価管理の取組みを強化いたしました。大型物件事業については、ヒートアイランド現象の抑制効果を発揮する新工法の「気化冷却外装システム」に取組むほか、外装大規模修繕の一括受注にも注力し、既存タイル工事の減少を補うべく新分野への営業に注力いたしました。しかし、マンションや商業施設などの新規着工が依然として低水準で推移したため、低調な結果となりました。管理面においては、販管費の削減に努め、不良債権の発生の抑制のため与信管理にも一段の傾注をいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は325億61百万円と前年同四半期に比べ15億96百万円(4.7%)の減収となりました、損益面では営業利益は1億41百万円(前年同四半期は2億66百万円の営業損失)、経常利益は2億9百万円(前年同四半期は1億85百万円の経常損失)、四半期純損失は8百万円(前年同四半期は2億32百万円の四半期純損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①大型物件事業

当連結会計年度より該当する工事内容について工事進行基準を適用しましたが、マンションや大型商業施設の新設着工の停滞による需要低迷の影響を受け、売上高は74億49百万円と前年同四半期に比べ2億円(2.6%)の減収、営業利益は43百万円と前年同四半期に比べ40百万円(48.2%)の減益となりました。

なお、売上高は第2四半期(1月～3月)及び第4四半期(7月～9月)に集中する傾向になっております。一方、販売費及び一般管理費は年間を通じて平準しており、このため、第1四半期(10月～12月)及び第3四半期(4月～6月)において営業利益が減少する傾向があります。

②戸建住宅事業

当連結会計年度より該当する工事内容について工事進行基準を適用しましたが、新設住宅着工戸数の減少による売上高の減少により、売上高は251億11百万円と前年同四半期に比べ13億96百万円(5.3%)の減収となりました。営業利益は原価管理の徹底及び不良債権の発生の減少により、7億17百万円と前年同四半期に比べ5億3百万円(234.8%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億94百万円減少し、216億3百万円となりました。これは主として、未成工事支出金が6億51百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億10百万円減少し、88億68百万円となりました。これは主として、支払手形・工事未払金等が4億70百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、127億35百万円となりました。これは主として、利益剰余金が93百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億69百万円減少し、36億55百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、20百万円（前年同四半期は11億92百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加額6億74百万円及びたな卸資産の減少額6億60百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、1億5百万円（前年同四半期は1億45百万円の収入）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出60百万円及び貸付けによる支出31百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、85百万円（前年同四半期は2億90百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月13日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定する方法によっております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

・完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については、工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,122,698千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ64,346千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

②表示方法の変更

・四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第3四半期累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

前第3四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「無形固定資産の取得による支出」は金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「無形固定資産の取得による支出」は35,005千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,655,061	3,824,574
受取手形・完成工事未収入金等	9,823,694	9,255,196
商品	435,065	445,384
未成工事支出金	1,905,142	2,556,482
材料貯蔵品	17,148	16,323
繰延税金資産	227,218	256,763
その他	267,526	394,072
貸倒引当金	△283,601	△235,522
流動資産合計	16,047,256	16,513,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	952,279	1,001,516
機械装置及び運搬具（純額）	4,445	7,795
土地	3,083,306	3,083,306
建設仮勘定	2,937	—
その他（純額）	72,026	85,050
有形固定資産合計	4,114,994	4,177,668
無形固定資産		
のれん	44,674	53,666
その他	153,007	130,140
無形固定資産合計	197,682	183,806
投資その他の資産		
投資有価証券	200,316	226,727
長期貸付金	460	800
繰延税金資産	204,274	268,818
その他	1,463,137	1,539,019
貸倒引当金	△624,720	△711,818
投資その他の資産合計	1,243,467	1,323,546
固定資産合計	5,556,144	5,685,021
資産合計	21,603,400	22,198,298

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,076,658	4,546,721
ファクタリング未払金	2,749,469	2,653,948
未払法人税等	17,362	—
未成工事受入金	814,856	920,486
完成工事補償引当金	21,677	25,125
工事損失引当金	79,977	36,252
その他	513,500	631,861
流動負債合計	8,273,502	8,814,395
固定負債		
退職給付引当金	66,556	68,083
役員退職慰労引当金	7,110	4,950
役員退職慰労未払金	46,730	50,930
その他	474,310	440,615
固定負債合計	594,706	564,578
負債合計	8,868,209	9,378,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	848,923	848,923
利益剰余金	11,006,292	11,099,976
自己株式	△32,818	△32,803
株主資本合計	12,718,747	12,812,446
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,443	6,877
評価・換算差額等合計	16,443	6,877
純資産合計	12,735,190	12,819,324
負債純資産合計	21,603,400	22,198,298

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	34,157,791	32,561,098
売上原価	30,245,715	28,754,698
売上総利益	3,912,076	3,806,399
販売費及び一般管理費	4,178,984	3,665,337
営業利益又は営業損失(△)	△266,908	141,062
営業外収益		
受取利息	68,182	59,085
受取配当金	3,882	4,045
不動産賃貸料	11,237	10,199
その他	12,028	10,144
営業外収益合計	95,331	83,475
営業外費用		
支払利息	12,943	15,115
その他	1,000	—
営業外費用合計	13,944	15,115
経常利益又は経常損失(△)	△185,521	209,422
特別利益		
固定資産売却益	—	11,522
貸倒引当金戻入額	4,055	7,083
持分変動利益	3,330	—
特別利益合計	7,385	18,605
特別損失		
固定資産除却損	3,783	2,039
投資有価証券評価損	838	37,432
退職給付費用	58,396	—
雇用調整支出金	—	45,639
特別損失合計	63,018	85,111
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△241,154	142,916
法人税、住民税及び事業税	41,131	58,382
法人税等調整額	△49,868	93,226
法人税等合計	△8,736	151,608
四半期純損失(△)	△232,417	△8,691

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,287,037	9,412,502
売上原価	7,423,970	8,460,246
売上総利益	863,066	952,256
販売費及び一般管理費	1,421,665	1,244,284
営業損失(△)	△558,598	△292,027
営業外収益		
受取利息	21,513	18,696
受取配当金	1,265	1,711
不動産賃貸料	3,703	3,737
その他	3,054	414
営業外収益合計	29,537	24,559
営業外費用		
支払利息	3,915	5,031
その他	599	205
営業外費用合計	4,515	5,236
経常損失(△)	△533,577	△272,705
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	9,149	—
特別利益合計	9,149	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,524
雇用調整支出金	—	7,527
特別損失合計	—	21,051
税金等調整前四半期純損失(△)	△524,427	△293,757
法人税、住民税及び事業税	△148,698	△82,460
法人税等調整額	△49,757	△6,080
法人税等合計	△198,455	△88,540
四半期純損失(△)	△325,972	△205,216

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△241,154	142,916
減価償却費	126,836	107,386
のれん償却額	11,265	8,991
役員退職慰労引当金及び未払金の増減額(△は減少)	△20,817	△2,040
貸倒引当金の増減額(△は減少)	352,774	△39,018
受取利息及び受取配当金	△72,065	△63,130
支払利息	12,943	15,115
売上債権の増減額(△は増加)	3,209,588	△674,127
たな卸資産の増減額(△は増加)	556,727	660,834
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,195,434	△380,181
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,710	△1,527
工事損失引当金の増減額(△は減少)	9,398	43,725
持分変動損益(△は益)	△3,330	—
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△359,493	94,560
その他の流動資産の増減額(△は増加)	101,668	107,249
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△74,521	△74,715
その他	5,846	28,538
小計	1,431,944	△25,422
利息及び配当金の受取額	74,682	60,616
利息の支払額	△14,076	△16,586
法人税等の支払額	△299,620	△51,695
法人税等の還付額	—	53,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,192,930	20,565
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△125,042	△21,328
有形固定資産の売却による収入	305	11,522
無形固定資産の取得による支出	—	△60,490
投資有価証券の取得による支出	△28,710	△644
貸付けによる支出	△30,349	△31,540
貸付金の回収による収入	391,969	16,158
その他	△63,092	△18,744
投資活動によるキャッシュ・フロー	145,080	△105,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△166,670	—
自己株式の売却による収入	18	—
自己株式の取得による支出	△46	△15
配当金の支払額	△127,459	△84,995
その他	3,212	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△290,944	△85,011
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,047,066	△169,513
現金及び現金同等物の期首残高	2,707,111	3,824,574
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△39,464	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,714,713	3,655,061

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

	大型物件事業 (千円)	戸建住宅事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	7,649,517	26,508,274	34,157,791	—	34,157,791
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	79,110	79,110	(79,110)	—
計	7,649,517	26,587,385	34,236,902	(79,110)	34,157,791
営業利益又は営業損失(△)	83,564	214,241	297,805	(564,714)	△266,908

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 大型物件事業……ビル・マンション等の大型物件市場における内外装タイル・床タイルの工事、ユニットバス・システムキッチン・高級浴槽・その他住宅設備の工事、石材・乾式工法による大型セラミックタイルの工事、空調・衛生設備の工事
- (2) 戸建住宅事業……戸建住宅市場における内外装タイル・床タイル・エクステリア・その他タイル関連商品・浴槽・給湯器・システムキッチン・衛生設備・その他住宅設備関連商品の販売及び工事

- 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は566,717千円であり、その主なものは、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

	大型物件事業 (千円)	戸建住宅事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	7,449,274	25,111,823	32,561,098	—	32,561,098
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	8,995	50,003	58,999	(58,999)	—
計	7,458,270	25,161,827	32,620,097	(58,999)	32,561,098
営業利益	43,310	717,316	760,626	(619,563)	141,062

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主な内容

(1) 大型物件事業……ビル・マンション等の大型物件市場における内外装タイル・床タイルの工事、ユニットバス・システムキッチン・高級浴槽・その他住宅設備の工事、石材・乾式工法による大型セラミックタイルの工事、空調・衛生設備の工事

(2) 戸建住宅事業……戸建住宅市場における内外装タイル・床タイル・エクステリア・その他タイル関連商品・浴槽・給湯器・システムキッチン・衛生設備・その他住宅設備関連商品の販売及び工事

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は621,393千円であり、その主なものは、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

4 会計処理の方法の変更

完成工事高の計上基準の変更

「2. その他(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「工事契約に関する会計基準」及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、「大型物件事業」は売上高が2,048,253千円増加、営業利益が63,829千円増加し、「戸建住宅事業」は売上高が74,444千円増加、営業利益が517千円増加しております。

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外子会社がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外子会社がないため該当事項はありません。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。